

## 1学期に続いて、2学期の水泳教室（年間11回）が始まりました！

9月16日（金）の「水泳記録会」を目指して、全校児童が頑張っています！



**あと1メートル遠くまで、あと1秒速く、私は泳ぎたい!**

### ■リオ五輪に刺激を受けて、自己最高記録を目指して、子どもたちは魚にもイルカにもなる! ■

2学期が始まって1週間、1学期5回実施した水泳教室前期に続いて、26日（金）、29日（月）と後期6回の水泳教室の2回を既に実施しました。9月16日（金）の水泳記録会を目指して頑張る子どもたちの意欲がすごいです。やる気です。本気です。元気です。今年度の水泳教室もあと4回となりました。最後まで誠実に頑張る抜くカラカスの子どもたち、その姿は水の中でも一層輝いています。

★★**予定変更のお知らせ**★★ 今週は治安状況を鑑み、以下のように変更します。9月1日（木）、2日（金）の両日は自宅授業を実施します。9月3日（土）の「こどもまつり」は10日（土）に延期します。

★★**学校だより「アビラ」200号達成!**★★ 2014年4月から「アビラ」という名前で発行を始めました学校だよりが2年5ヶ月で200号になりました。これからもまだまだ、まだまだ「アビラ」は続きます。

### カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…（その117）

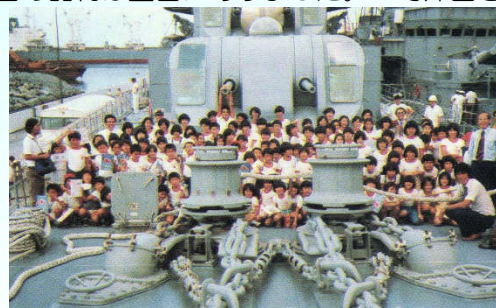
#### カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です! NO. 12

この夏休みにこんな素敵な出会い、こんな素敵な物語がありました。

この物語は、学校に届いた一通の元派遣教師の息子さんの電子メールから始まりました。そうです。学校だより「アビラ」第30号の続報です。この夏休み、本校の教員が一時帰国した際、その元派遣教員のお宅を訪ね、「創立40周年記念文集DVD」や記念品の数々を渡し、今の学校やベネズエラの様子を話してきました。元派遣教員の先生は、本当に懐かしくその話に耳を傾け、このような手紙を託してくださいました。「…初めてお便りします。私は〇〇と申します。以前より先生と連絡を取り合っていて頂いている〇〇の父親です。息子を通して、カラカス日本人学校に関する先生よりのホームページや写真を拝見しております。私は1978年4月から1981年3月までの三年間勤務しました。一時帰国中の先生が拙宅を訪ねて来られました。久しぶりに、現在のカラカス日本人学校やベネズエラの様子などを伺い、何とも懐かしい気持ちになりました。私はカラカス日本人学校草創期の商社等の一番往来の盛んな時期にカラカスで生活していたのではないかと思います。価格は高でしたが、輸入品も含め品物は豊富にありました。一時帰国された先生の持参されたカラカス



先生が働かれていた二代目の校舎



当時の全校児童生徒・教職員の集合写真

日本人学校の創立40周年に因む数々の記念品やDVD等を頂きました。誠に有り難うございました。カラカス日本人学校やカラカスの街並み、アビラ山、パルケ・デル・エステなど、そこで家族同様に過ごした教え子たちのことなどを次々に思い出して懐かしい気持ちになりました。カラカス日本人学校で関わりのあった先生方や教え子の一部とは、現在でも交流があります。『カラカス日本人学校がある

から、私の今がある。』と言われる先生の言葉に、私も深く共感します。…」何と有り難い手紙ででしょうか。創立40周年記念事業のお陰で、またひとつ大きな大きな邂逅（かいこう）がありました。この奇跡に感謝!